

第31回学都仙台コンソーシアム定期総会議事録（要旨）

1. 日 時

令和3年7月26日（月）10時30分～11時45分

2. 開 催

Zoomによるオンライン会議

3. 出席者

29会員機関（出席者の役職名・氏名は<別紙>出席者名簿を参照）

石巻専修大学、尚綱学院大学、聖和学園短期大学、仙台赤門短期大学、仙台青葉学院短期大学、仙台大学、東北学院大学、東北芸術工科大学、東北工業大学、東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部、東北文化学園大学、東北医科薬科大学、放送大学宮城学習センター、宮城教育大学、宮城誠真短期大学、宮城大学、仙台高等専門学校、仙台商工会議所、一般財団法人東北多文化アカデミー、一般社団法人みやぎ工業会、国立研究開発法人理化学研究所、宮城県、仙台市（委任状）仙台白百合女子大学、東北大学、東北福祉大学、宮城学院女子大学、公益財団法人仙台観光国際協会

4. 定足数の確認等

江崎事務局長から、本会規約により本総会は成立する旨の報告があった。また、本年度会員機関代表者の変更について江崎事務局長から、聖和学園短期大学の吉川和夫学長、仙台青葉学院短期大学の田林暁一学長、仙台大学の高橋仁学長、東北工業大学の渡邊浩文学長、放送大学宮城学習センターの高橋満所長、仙台高等専門学校の澤田恵介校長、仙台観光国際協会の石川浩史理事長（欠席）、東北文化学園大学の加賀谷豊学長の8機関代表者の紹介の後、それぞれ挨拶があった。

5. 議長選出

規約第14条第5項に基づき、加賀谷会長を議長に指名した。

6. 議事録署名人の選出

規約第17条第1項に基づき、東北医科薬科大学の高柳学長、宮城教育大学の村松学長を議事録署名人に選出した。

7. 議事

第6号議案 令和3年度事業部会長の指名について

会長校から、令和3年度事業部会長の指名について、議事進行上、先に審議する旨配付資料に基づき趣旨説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

第1号議案 令和2年度事業報告について

会長校及び各事業部会長等から、令和2年度事業報告について、配付資料に基づき趣旨説明があり、

審議の結果、原案のとおり承認された。

第2号議案 令和2年度収支決算及び特別会計収支決算について

会長校から、令和2年度収支決算および小祝復興大学部会長（代理）から、特別会計収支決算について、配付資料に基づきそれぞれ趣旨説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

第4号議案 令和3年度役員の変更選任について

会長校から、令和3年度役員の変更選任について、議事進行上、先に審議する旨配付資料に基づき趣旨説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

第3号議案 令和2年度監査報告について

吉川監事から、令和2年度監査報告について、配付資料に基づき趣旨説明があり、事業および収支決算は、正確かつ適切に処理されている旨の報告があり、審議の結果、承認された。

第5号議案 令和3年度運営委員会委員の変更選出（案）について

令和3年度運営委員会委員の変更選出（案）について、会長校から、配付資料に基づき趣旨説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

報告事項

(1) 令和3年度各事業部会の活動計画について

【単位互換部会】

武田部会長から、単位互換部会の活動計画について、配付資料に基づき報告があった。

- ・令和3年度前期の単位互換ネットワーク履修状況について、受入れ大学6大学、提供科目数29科目、履修者数118人。「昨年度比増〔受入れ大学+3、提供科目数+4、履修者数+84人〕」。
- ・単位互換授業ネットワーク大学別「派遣」・「受入」者数は、前期22大学の118人が履修。
- ・遠隔授業の定義等の部会遠隔会議（zoom）を8月頃に予定。

【サテライトキャンパス部会】

岡部会長から、サテライトキャンパス部会の活動計画について、配付資料に基づき報告があった。

- ・令和3年度サテライトキャンパス公開講座の実施講座数について、対面講座及びオンライン講座の開講予定コマ数は、対面講座19コマ、オンライン講座2コマの21コマを実施予定。講座仙台学は、9月に募集予定。なお、前期に1コマを実施し28名が受講。
- ・サテライトキャンパス公開講座の実施対策として、①対面講座は、定員30名に制限し、1日2コマまでとする。②オンライン講座は、定員100名ないしは300名の1日3コマで実施予定。

【広報部会】

八島部会長から、広報部会の活動計画について、配付資料に基づき報告があった。

- ・令和3年度事業計画として、①ホームページの更新・充実②広報サポートスタッフ「フリーペーパーG. S. C.」代替事業として、学都仙台コンソーシアムのPR記事の作成・方針と広報活動の実施。③学都仙台コンソーシアムリーフレット（データ版）の更新。

【企画部会】

千葉部会長から、企画部会の活動計画について、配付資料に基づき報告があった。

- ・令和3年度事業計画として、①教員免許状更新講習システム共同事務サーバーの運用②FD・SDに関するワークショップ、シンポジウムの情報公開およびFD研修会の開催③全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムオンラインによる参加(9月11日(土))④イオンモール兩宮の施設活用の「リカレント」拠点施設の運営についての継続的な検討。
- ・イオンモール兩宮の施設を利用したリカレント教育に関する企画案について、企画部会から、7項目の取り組みについて推進して行く旨の提案があった。

【復興大学部会】

小祝部会長(代理)から、復興大学部会の活動計画について、配付資料に基づき活動状況について報告があった。

- ・宮城県からの補助金事業が、令和2年度をもって終了した。
- ・令和3年度事業計画として、東日本大震災復興期の10年を終えるも人口減少に伴う高齢化、あるいは産業界や地域の人材育成など地域の課題は山積していることから、これまでの復興大学4事業を継続し、持続的な地域運営に資する人材育成および学術活動により地域貢献を果たす目的の下に実施していくこと、事業実施に伴う予算措置は大学独自の取り組みとする。
①復興人材育成教育事業②防災教育人材育成事業(旧教育復興支援事業)③地域復興支援事業(旧企業支援ワンストップサービス事業)④災害ボランティアステーション事業を予定。
- ・復興大学部会全体の活動として、WEBサイト運営を通常予算で実施する。
- ・復興人材育成教育事業として、オンライン開放型講座地域未来学を6月～12月全30講座を開講予定。

(2) その他

① 県制150周年記念事業の取組み推進について

江崎事務局長から、県制150周年記念事業の取組み推進について、配付資料に基づき報告があった。

② 学生および教職員に対する消費生活講座の周知について

宮城県から、学生および教職員に対する消費生活講座の周知について、配付資料に基づき説明があった。

9. 閉会

江崎事務局長から、第31回定期総会の閉会が宣言され、午前11時45分終了した。

以上